

# 平成28年度 事業計画

## I 基本方針

今年、1月に異常な寒波に日本列島がつつまれ、沖縄では雪が初観測、他の地域でも同様の状況が見られるなど、暖冬とは言えない季節となっております。

平成27年度のわが国の高齢化率が26%と伸びる中、高齢者の雇用状況は改善傾向にあり、65歳以上の雇用者は増加しております。

国では、安倍内閣が一億総活躍社会を掲げ、新・3本の矢の第1の矢「希望を生み出す強い経済」を目指して取り組んでおります。

こうした中において、当センターでは「第3次シルバーフィールドプラン（中・長期目標）」の課題を一つ一つ実現しながら、市との連携をより一層強化し、新規事業の確保を進めるとともに、会員拡大、就業機会の確保・拡大等を図るために次の項目を重点的に取り組んでまいります。

### 【重点項目】

- 1 就業機会の確保・拡大
- 2 安全・適正就業の推進
- 3 会員拡大と会員資質の向上と育成
- 4 会員活動の活性化

## II 事業計画

### 1 就業機会の確保・拡大

フィールドプランの目標（5ヵ年計画）も2年目を迎え、今年度の目標として会員数6,500人、就業率74.2%、契約件数17,800件と定めており、就業機会の確保・拡大を当センターの根幹事業であることを認識し、地域・職域における就業機会拡大活動を促進するとともに、行政や関係団体と連携した事業や新分野開拓に努めてまいります。

- (1) 会員一人ひとりの就業開拓意識の高揚と活動の強化
  - ① 就業開拓の意義と重要性の浸透と情報収集活動の周知徹底
  - ② 会員一人がひとりの新規会員を勧誘の推進
- (2) 地域班における就業開拓促進意識の高揚と活動
  - ① 就業機会拡大会議の活性化と地域班に密着した情報収集の促進
  - ② 地域におけるイベントへの参加による就業開拓活動の推進
  - ③ ボランティア活動による就業開拓活動の推進
- (3) 職域班における就業開拓意識の高揚と活動
  - ① 顧客満足度の高い仕事を通じた再受注の更なる推進
  - ② 就業時における他職種就業機会拡大活動の推進
  - ③ プチシルバーにおけるシルバー事業の情報提供活動の推進
- (4) 就業開拓員による就業機会の拡大
  - ① 各方面からの仕事情報収集の強化と訪問による就業機会拡大の推進
  - ② 地域班と連携した就業情報の交換及び就業開拓の推進
  - ③ 職域班と連携した就業情報の交換及び就業開拓の推進

- (5) 行政や関係団体を中心とした就業開拓
  - ① 国等の補助対象事業の実施
  - ② 市との連携した事業の実施
  - ③ 外郭団体等関連機関との連携した事業の実施
- (6) 効果的な広報活動を通じた就業機会の拡大
  - ① プチシルバーの積極的活用によるセンター事業の拡大
  - ② 区民まつり（フェスタ）等あらゆる機会を通じた啓発活動の推進
  - ③ 堺ツーデーマーチ等ボランティア活動を通じた啓発活動の推進
  - ④ シルバー普及啓発月間における駅前啓発活動の推進
  - ⑤ パンフレット（市広報折り込み）全戸配布による就業機会の拡大
  - ⑥ 市広報等を活用した啓発の推進
  - ⑦ ホームページ、会報「シルバーさかい」を活用した啓発
  - ⑧ バス広告及び車内放送による啓発活動の推進
  - ⑨ 民間情報誌等の活用
- (7) 新分野開拓の推進
  - ① 女性会員に適した事業の研究・開拓
  - ② 休耕農地を活用した事業の研究・開拓
  - ③ 市等行政機関との連携による事業の研究・開拓

## 2 安全・適正就業の推進

会員が安全かつ適正に就業し、健康で生きがいをもって生活することは当センターの最重要課題です。こうしたことから、就業中や途上の事故、損害賠償事故ゼロを目指して取り組む中、保険会社との連携を保ち事故防止の強化を図ります。また、「会員就業基準」に基づいて長期並びに長時間就業の是正を進めます。

- (1) 安全就業の確保と安全意識の高揚
  - ① 就業現場の安全パトロールと安全指導の強化
  - ② 職種別安全就業マニュアルによる安全指導の徹底
  - ③ 安全手帳の作成及び全会員配布による安全意識の高揚
  - ④ 安全確保のための作業用具使用の指導強化
  - ⑤ 草刈機（カルマー）使用における損害賠償事故防止の徹底指導
  - ⑥ 事故発生状況に基づく原因究明と事故防止対策
  - ⑦ 自転車利用推進委員による就業途上の事故防止及び安全利用の啓発
  - ⑧ 安全就業研修会及び交通安全講習会等での指導強化
  - ⑨ 外部指導者による安全就業意識高揚につながる研修の研究と実施
- (2) 適正就業の是正と推進
  - ① 「会員就業基準」に基づく適正就業の徹底
  - ② 厚生労働省の指導に基づく適正就業是正の推進
  - ③ 会員に対する適正就業の徹底と指導の推進
- (3) 健康管理
  - ① 会報紙、ホームページ等における健康管理啓発記事の掲載
  - ② 健診の積極的な受診啓発
  - ③ 健康に関する講座等の開催
  - ④ 健康自己管理意識の高揚

### 3 会員拡大と会員資質の向上

フィールドプランにおける会員数の目標値達成に向けての取り組みを進めるうえで、センターの発展には、会員が公益社団法人の構成員であることの認識を深め、主体的・積極的な事業参加を促すとともに、就業にあたっては顧客満足度の高い仕事を通して信頼度を確保する必要があり、外部講師及び役員による次の取り組みを推進します。

#### (1) 会員拡大

- ① 会員一人ひとりによる会員拡大活動の推進
- ② 地域班、職域班による会員拡大活動の推進
- ③ 女性部会による女性会員拡大活動の推進
- ④ 会員によるパンフレット等を活用した会員拡大の推進
- ⑤ パンフレット等各種媒体を活用した会員拡大の推進
- ⑥ パンフレット（市広報折り込み）全戸配布による会員拡大の推進
- ⑦ 未就業者の分析と原因別対策の検討による退会者の減少方策の推進

#### (2) 各種研修を通じた役員と会員資質の向上

- ① 新入会員研修
- ② 地域委員研修
- ③ 役員研修
- ④ 接遇研修
- ⑤ 職域班リーダー（世話人）研修
- ⑥ 職種別技能研修

### 4 会員活動の活性化

センターの発展には、構成員である会員が自主的・積極的に事業に参加することが不可欠です。そのためには、会員相互が地域や職域、趣味やサークル活動を通して交流し、人間関係を構築することが重要であることから次の取り組みを推進します。

#### (1) 地域班における会員の掌握と会員活動の活性化

- ① 地域委員等による会員宅訪問を通じた会員の現状把握（就業意欲、健康状況等）
- ② センター情報の伝達、意見交換を通じた会員とのコミュニケーションの拡大
- ③ ボランティア活動をはじめ地域の特色を活かした会員活動の企画・実施
- ④ 会員相互の交流に関する行事の企画・実施
- ⑤ 地域担当理事及び退任理事並びに地域役員の連携による会員活動の活性化

#### (2) 職域班における会員活動の活性化

- ① 職域班会員の相互交流の促進
- ② 職域間の枠を越えた交流の促進
- ③ 職群担当理事及び退任理事並びに職域世話人等の連携による会員活動の活性化

#### (3) その他の活動推進

- ① 地域班、職域班の枠を越えた交流の促進
- ② 会員の自主サークル活動への参加促進

## 収支予算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	2,200,000,000	2,103,000,000	97,000,000	
受取配分金	1,995,000,000	1,905,000,000	90,000,000	
受取材料費等	45,400,000	45,600,000	△ 200,000	
受取事務費	159,600,000	152,400,000	7,200,000	
労働者派遣事業等受託収益	3,000,000	3,000,000	0	
労働者派遣事業受託収益	3,000,000	3,000,000	0	派遣事業手数料
地域人づくり事業受託収益	0	12,126,000	△ 12,126,000	
地域人づくり事業受託収益	0	12,126,000	△ 12,126,000	
受取会費	8,280,000	7,416,000	864,000	
正会員受取会費及び特別会員受取会費	8,280,000	7,416,000	864,000	
受取補助金等	70,088,000	70,806,000	△ 718,000	
受取連合交付金	11,088,000	10,480,000	608,000	国庫補助金
受取市補助金	59,000,000	60,326,000	△ 1,326,000	
雑収益	33,000	64,000	△ 31,000	
受取利息	19,000	46,000	△ 27,000	
雑収益	14,000	18,000	△ 4,000	
経常収益計	2,281,401,000	2,196,412,000	84,989,000	
(2) 経常費用				
事業費	2,229,318,000	2,145,885,000	83,433,000	
支払配分金	1,995,000,000	1,905,000,000	90,000,000	
支払材料費等	45,400,000	45,600,000	△ 200,000	
給料手当	74,725,000	73,640,000	1,085,000	職員給料手当
法定福利費	13,300,000	14,027,000	△ 727,000	職員社会保険等
退職給付費用	2,174,000	2,818,000	△ 644,000	
福利厚生費	424,000	460,000	△ 36,000	職員健康診断等
旅費交通費	88,000	105,000	△ 17,000	先進SC視察等旅費

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	備 考
通信運搬費	7,330,000	7,302,000	28,000	切手・電話料等
減価償却費（建物）	644,000	685,000	△ 41,000	
減価償却費（建物以外）	11,000	35,000	△ 24,000	
会議費	626,000	739,000	△ 113,000	職域班会議茶等
什器備品費	1,000,000	1,173,000	△ 173,000	職域関係備品等
消耗品費	7,618,000	7,574,000	44,000	車両ガソリン等
修繕費	3,250,000	3,350,000	△ 100,000	車両車検・修理等
印刷製本費	9,468,000	4,905,000	4,563,000	シルバーさかい印刷等
光熱水料費	1,661,000	1,685,000	△ 24,000	本部・支部共益費等
賃借料	21,853,000	22,081,000	△ 228,000	電算借上等
保険料	11,680,000	11,005,000	675,000	会員傷害保険等
諸謝金	1,775,000	1,039,000	736,000	講師謝礼金
租税公課	466,000	399,000	67,000	収入印紙
委託費	30,619,000	41,937,000	△ 11,318,000	施設管理委託等
支払手数料	15,000	10,000	5,000	
貸倒損失	1,000	115,000	△ 114,000	
雑費	190,000	201,000	△ 11,000	
管理費	52,083,000	50,516,000	1,567,000	
役員報酬	4,850,000	4,618,000	232,000	常勤役員
給料手当	13,187,000	12,345,000	842,000	職員給料手当
臨時雇賃金	1,644,000	1,608,000	36,000	短期臨時職員
法定福利費	3,377,000	3,299,000	78,000	職員社会保険等
退職給付費用	384,000	497,000	△ 113,000	
福利厚生費	75,000	76,000	△ 1,000	職員健康診断等
会議費	1,375,000	1,464,000	△ 89,000	総会関係等
役員等旅費交通費	5,377,000	5,634,000	△ 257,000	会議・研修費用弁償等
旅費交通費	306,000	328,000	△ 22,000	政令市SC会議旅費等
通信運搬費	1,294,000	1,286,000	8,000	切手・電話料等
減価償却費（建物以外）	2,000	7,000	△ 5,000	
消耗品費	1,344,000	1,319,000	25,000	車両ガソリン等
修繕費	600,000	435,000	165,000	本部・支部小修繕
印刷製本費	2,516,000	2,519,000	△ 3,000	総会議案書等
光熱水料費	294,000	297,000	△ 3,000	本部・支部共益費等

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	備 考
賃借料	3,856,000	3,756,000	100,000	電算借上等
租税公課	4,130,000	2,932,000	1,198,000	消費税
支払負担金	520,000	508,000	12,000	関係協議会会費等
委託費	5,404,000	6,276,000	△ 872,000	施設管理委託等
支払手数料	1,254,000	1,148,000	106,000	銀行振込手数料等
雑費	294,000	164,000	130,000	
経常費用計	2,281,401,000	2,196,401,000	85,000,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	11,000	△ 11,000	
当期経常増減額	0	11,000	△ 11,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	11,000	△ 11,000	
固定資産売却（除却）損	0	11,000	△ 11,000	
当期経常外増減額	0	△11,000	11,000	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	159,443,958	149,770,154	9,673,804	
一般正味財産期末残高	159,443,958	149,770,154	9,673,804	
Ⅲ 正味財産期末残高	159,443,958	149,770,154	9,673,804	

収支予算書に対する注記

1. 投資活動及び財務活動に関する見込

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	備 考
<b>【投資活動収支の部】</b>				
〈投資活動収入〉				
敷金・保証金等戻り収入	0	16,000	△ 16,000	
預託金戻り収入	0	16,000	△ 16,000	
特定資産取崩収入	70,000,000	69,917,000	83,000	
減価償却引当資産取崩収入	0	2,917,000	△ 2,917,000	
配分金支払準備資金積立資産取崩収入	70,000,000	67,000,000	3,000,000	
〈投資活動支出〉				
特定資産取得支出	73,215,000	84,041,000	△ 10,826,000	
退職給付引当資産取得支出	2,558,000	3,314,000	△ 756,000	
減価償却引当資産取得支出	657,000	727,000	△ 70,000	
配分金支払準備資金積立資産取得支出	70,000,000	80,000,000	△ 10,000,000	

2. 借入金限度額 20,000,000円

3. 事業収益の増加に連動する支出（支払配分金・支払材料費等）に限り、予算額を超えて執行することができる。

4. 債務負担額

9,647,403円

平成29年度 4,761,351円 平成30年度 2,324,616円

平成31年度 1,988,856円 平成32年度 572,580円

## 5. 債務負担額に関する調書

(単位：円)

事 項	限度額 (次年度以降)	合計 (A=B+C)	前年度末まで の支払義務 発生額 (B)	当該年度以降の 支払義務発生予定額 (C)	
				当年度	次年度以降
コンピュータ 東芝 Theしるばー	1,814,400	18,144,000	12,700,800	3,628,800	平成29年度 1,814,400
FAX・コピー ゼロックス DCIV2060F	166,320	554,400	277,200	110,880	平成29年度から 平成30年度 166,320
FAX・コピー ゼロックス DCIV2060F	293,760	550,800	146,880	110,160	平成29年度から 平成31年度 293,760
FAX・コピー ゼロックス DCIV2060F	160,650	535,500	267,750	107,100	平成29年度から 平成30年度 160,650
車 両 ダイハツハイゼット カーゴ2WD3FAT	188,160	806,400	456,960	161,280	平成29年度から 平成30年度 188,160
車 両 ダイハツハイゼット カーゴ4WD3FAT	330,750	1,417,500	803,250	283,500	平成29年度から 平成30年度 330,750
車 両 ダイハツハイゼット カーゴハイルーフ	575,424	959,040	191,808	191,808	平成29年度から 平成31年度 575,424
車 両 ダイハツハイゼット ダンプ	887,112	1,438,560	263,736	287,712	平成29年度から 平成32年度 887,112
車 両 ダイハツハイゼット ダンプ4WD	901,368	1,386,720	208,008	277,344	平成29年度から 平成32年度 901,368
FAX・コピー ゼロックス DCC2263F	460,944	628,560	41,904	125,712	平成29年度から 平成32年度 460,944
車 両 ダイハツハイゼット ダンプ4WD AT	0	1,348,200	1,101,030	247,170	平成29年度 0
FAX・コピー ゼロックス DocuCentre 2060F	26,775	535,500	401,625	107,100	平成29年度 26,775
車 両 ダイハツアトレワゴン 2WD 4CAT	347,760	1,159,200	579,600	231,840	平成29年度から 平成30年度 347,760
エアコン ダイキンツインマルチ P160	643,860	1,287,720	459,900	183,960	平成29年度から 平成32年度 643,860
車 両 ダイハツハイゼット ダンプAT	1,107,000	1,620,000	189,000	324,000	平成29年度から 平成32年度 1,107,000
セキュリティソフト SKYSEA	1,137,240	1,749,600	262,440	349,920	平成29年度から 平成32年度 1,137,240
シュレツダ NX-206	298,080	388,800	12,960	77,760	平成29年度から 平成32年度 298,080
シュレツダ PX-506	307,800	486,000	81,000	97,200	平成29年度から 平成32年度 307,800
計	9,647,403	34,996,500	18,445,851	6,903,246	9,647,403